



あなたに伝えたい 上尾市議会議員（無所属）**市政&議会** **井上しげる** レポート

発行 2020年10月 NO 52 〒362-0031 上尾市東町2-4-11 TEL・FAX 048-773-3436
E-mail shigeru1952@hotmail.co.jp ホームページ <http://5-inoue.com/> 政策フォーム・市民の声あげお所属

9月定例会
報告します

新型コロナウイルス感染症対策で追加補正予算

インフルエンザ予防接種助成拡充・プレミアム商品券など
総額13億5925万2千円の追加事業を決定

上尾市議会9月定例会は、9月1日開会され、市長から令和2年度上尾市一般会計補正予算案、平成31年度上尾市一般会計歳入歳出決算の認定など24議案が提案されました。

また、65歳以上のインフルエンザ予防接種自己負担額1500円を助成する埼玉県の補正予算が成立したことによる補正予算（第7号）が追加提案され、25議案をすべて可決して10月5日に閉会しました。補正予算に盛り込まれた主な事業は、下記のとおりです。

新型コロナウイルス感染症対策 会派要望 補正予算で実現へ

高齢者等インフルエンザ予防接種助成拡充

1億5648万円

1歳児～中学3年生までの
インフルエンザ予防接種助成

1億2726万円

- 対象者 接種日当日に満65歳以上の人
60歳以上65歳未満の人のうち心臓、腎臓又は呼吸器等に疾患等のある人。
- 接種期間及び費用 **10月1日～12月31日 無料**
令和3年1月1日～1月31日 1500円 1回まで

1,500円 → 0円



1歳児～中学3年生までの
子ども対象。
1回あたりの**自己負担額
1500円**で接種。

特別定額給付金の対象外の
新生児に対して10万円支給

1億6098万円

PCR検査センター等への追加支援

921万円



令和2年4月28日から令和
3年4月1日の間に生まれた
新生児に**10万円を給付す**
る。

PCR検査センターおよび市内医療機関に対する追
加支援（アイソレーションガウン、フェイスシ
ールドの提供等）を実施する。



市民の声が市政を変える。

「市民の声あげお」は市民と議員の政策グループです。

小中学校、子育て施設への 感染拡大防止のための支援

1億4467万円

市内の小中学校、保育所及び放課後児童クラブ等における感染拡大防止するため消毒液やマスクの購入等を支援する。



プレミアム付商品券発行 キャッシュレス決済還元

4億2923万円

市内消費の活性化を図るため、**商工会議所が実施する事業に補助**をします。

プレミアム付商品券（プレミアム率 30%）

利用期間 R2.12/15～R3.3/15

販売方法 応募はがきを含む案内チラシを10月中旬に全戸配布予定

内容 1冊 10,000円（額面 13,000円）

キャッシュレス還元（ポイント還元 20%）

利用期間 R2.12/1～12/31

還元上限 1回当たり 2,000円

期間中 10,000円まで

利用可能サービス PayPay

西貝塚環境センター汚職事件の反省に立って

上尾市長等政治倫理条例、 議員政治倫理条例が全会一致で可決

西貝塚環境センターの管理運営をめぐる汚職問題の第三者委員会報告を受けて、平成30年9月に議会として議員政治倫理条例の制定の協議が開始。令和2年3月定例会で特別委員会が設置され、24回の会議を積み重ね、9月定例会最終日の10月5日、「上尾市議會議員政治倫理条例」が委員会提出として提案され、全会一致で成立しました。さらに市長から提案された市長・副市長・教育長の政治倫理を定めた「上尾市長等政治倫理条例」も成立。職員倫理条例と併せ「議会」「市長など」「職員」のそれぞれが守るべき倫理基準やその基準に違反した場合の手続きなどが決まりました。

私は、西貝塚環境センター汚職問題、元市長所有地ブロック塀・フェンス問題を追及してきた議員として、こうした問題を二度と起こさないため奮闘してきました。3つの条例の制定で一定の仕組みは整ったことになります。これらの条例が言葉のみでなくきちんと機能するよう、しっかりとチェックをしていきたいと思います。

市長等の責務

1. 政治倫理基準

政治倫理基準に違反の疑い

- 地位を利用した金品の授受の禁止
- 市が行う請負契約や指定管理者の指定に関し、特定の事業者に有利な取り扱いの禁止
- 職員の公正な職務を妨げ、その職権を不正に行使することの禁止
- 職員の採用に関する権限・影響力行使の禁止
- 政治活動に関する道義的批判を受けるおそれのある寄附受領の禁止

2. 請負辞退・指定禁止

次の法人は、市発注の請負契約等の辞退、指定管理者の候補者の選定の禁止

- 市長等が役員、または実質的に経営に携わっている法人
①資本金等の3分の1以上出資
②経営方針や主な取引に関与

- 市長等の配偶者、2親等内及び同居の親族が役員をしている法人

3. 資産公開

○資産等報告書等を提出し、閲覧に供する

- 市長の「資産、所得、関連会社、税の納付状況」
※必要な証明書を添付

遵守するための仕組み

4. 市民の調査請求権

有権者100人以上の連署

※疑いを証する資料を添付

5. 政治倫理審査会

委員は任期2年、5人以内とし、次の職務を行う。

- 報告書の提出
○要旨を速やかに公表し、閲覧に供する
- 資産等報告書等の審査
- 市民の調査請求権に係る事案の調査
- その他、政治倫理確立のため必要な事項について、答申・建議
- 説明会の開催

6. 問責制度

市長等が職務関連犯罪による逮捕等の後、その職にとどまろうとするとき

- 市長は、逮捕後、市民に対する説明会を開催することができる。
- 市長は、起訴、または有罪判決後、市民に対する説明会を開催しなければならない。
※開催されないときは、有権者50人以上の連署で開催請求が可能

有罪判決の宣告後、刑の確定したときは、退職・辞職するものとする。
※退職・辞職しないときは、解職、または議会の同意を得て罷免する。

議員政治倫理条例の主な内容

①契約に対する遵守事項

配偶者・一等親内の血族・同居の親族が経営

に関する企業は市との契約を辞退するよう努める。

②市民による調査請求 議員に倫理基準違反・契約に対する遵守違反の疑いがあるとき、市民の 500 分の 1 以上の連署で調査請求を行うことができる。

③政治倫理審査会 調査請求のあった事案は弁護士など外部の有識者 5 名で構成された審査会で審査を行う。



井上しげる の一般質問

PCR検査の拡充、発熱外来・コールセンターの開設を

質問

PCR 検査を医療従事者、介護施設、保育施設等の従事者に拡充する考えは？発熱外来、発熱コールセンターの開設の考えは？

【上尾市内の PCR 検査の実施状況】

5月	6月	7月	8月	9月	合計
15	50	155	135	58	413

(5月19日～9月17日)

PCR検査の拡充は国・県の動向をみて 発熱外来 市内医療機関の半数が開設している

答弁

埼玉県では医療従事者等の感染リスクや社会的影響が大きい集団に属されている方について集団感染が疑われる場合、PCR 検査を行うとしているが、国や県の動向を見極めていきたい。発熱外来をしている医療機関が市内に半数あることから発熱外来、コールセンターの開設は考えていない。

学級支援員の増員、学校・保育所・公民館等の手洗場の自動水栓化を！

質問

子どもたちのサポートと学生の生活支援の面から学級支援員 33 人の増員のさらなる増員についての考えは？

また秋冬のインフルエンザ対策、新生活様式の一つとして学校、保育所、公民館などの公共施設の水道の自動水栓化についての考えは？

学級支援員 学生も含め幅広く募集しているが、さらなる増員は困難な状況

答

6 月補正予算で 33 人増員し、学生も含め幅広く募集を行い、配置を進めている。しかし、人材確保が難しく、欠員が生じていることからさらなる増員は困難な状況である。

弁

自動水栓化は、感染症対策の今後の状況を見極めながら、対応に努める

全 33 校の廊下の水栓は 2852 口で、すべて手動水栓。公民館は 48 口が手動水栓。保育所は、177 口、全てが手動水栓となっている。

現在の感染症対策としては、工夫しながら様々な対策を実施している。今後の状況を見極めながら、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う、新しい生活様式への対応に努めていく。



子ども若者支援について

子ども若者自立支援事業「ルームここから」の概要と今後の課題は？

質問

今年度から子ども若者自立支援事業として「ルームここから」が職員提案制度で実施されている。上尾市の子ども若者支援の取り組みとして画期的な一歩だと思うが、その概要と参加人数、またアプローチ方法と今後の課題は？



【一般質問する井上しげる】

人とつながりたいとの思いを持った人が集い緩やかにかかわり過ごす場

今後の課題 居場所の雰囲気づくりと新たな利用者の掘り起し

答弁

支援対象は、市内に住む30歳代までのニート・ひきこもり・不登校など困難を有する子ども・若者・保護者。支援内容としては、個人の状況に合わせた自立支援プログラムや通所が困難な利用者への家庭訪問による相談などの支援を実施するもの。今後の課題としては既存利用者と新規利用者との居場所の雰囲気づくりと家庭訪問による新たな利用者の掘り起しを行うことと考えている。

伴走型支援が不可欠 現状と課題は？ 伴走型支援を行う団体と連携し、寄り添った支援を行う

質問

自立支援事業には伴走型支援が不可欠であると考えるが現状と課題は？

答弁

市内では、ボランティアソーターによる伴走型の就労支援を行っている団体があり、「ルームここから」の立ち上げに協力をいただいている。これらの団体と連携し、相談者の気持ちに寄り添った就労支援を行っていくことが大切だと考えている。

全員協議会

しらこばと保育所に続き、西上尾第二保育所が耐震不足で来年3月に休所へ

井上しげるは、6月定例会の一般質問で西上尾第二、第一保育所、つくし学園の耐震診断を行ってこなかったことを取り上げてきました。9月1日に全員協議会が開かれ、市が行った耐震診断の結果、西上尾第二保育所が耐震基準を満たしていないことが判明し、来年3月に休所することが決まったとの報告がありました。（西上尾第一、つくし学園は開所しながら耐震工事）今年3月に休所されたしらこばと保育所に続いての休所。

市は複合施設への移転計画があることを理由にしていましたが、子どもたちの安全より公共施設の計画が優先する市の姿勢は問題です。



【耐震不足が判明した西上尾第二保育所】



愛犬りき
空からのつぶやき

空の上から みなさん こんにち ワン！
コロナは なかなか おさまらないね 大丈夫？
行事も のきなみ中止 孫たちの運動会も見に行けず
お父さん、お母さんは がっかりしていたよ
インフルエンザにも気をつけて元気でね じゃまたね ワン！